



鹿児島県立喜界高等学校

喜界高だより

No.126

令和7年3月3日発行

〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連2536

TEL : (0997)65-0024 FAX : (0997)65-0217

校訓
自主自立
開拓創造
公德奉仕

喜界高校の日常と学校行事（令和6年10月～）

榕樹祭



△ S3メンバーによるダンス発表



△ F1のお祭り風クラス展示



△ 有志でサプライズ演奏♪

職場体験



たくさんの経験を
させていただきました



△ 青空の下で登はん訓練

創立記念講演会



△ 中島信一郎さんによる講演

中高合同発表会



△ 民族衣装アオザイを着ての
発表に興味津々

合格体験



△ 3年生による発表

調理実習



△ 2年生クリスマスメニューで

クラスマッチ



△ 白熱する試合を応援！！



共通テスト激励会



△ 校長の激励を受ける

課題研究発表(商業科)



△ 3年生の体を張った発表で
1・2年生も笑顔に

主な行事（2,3月）

2月	4	中高一貫教育校入試
	18～21	学年末考査（4日間）
	27	中高合同講演会
	28	卒業式予行
3月	3	第75回卒業式
	5・6	一般入学者選抜
	13	合格者発表・集合
	25	修了式・離任式

喜高生の日常（blog）



喜界高だより（カラー版）



卒業生へ ～贈る言葉～

島での学びを誇りに

校長 松野下 修司

厳しかった冬の風が少しずつ和らぎ、陽光が春の芽吹きを誘うこのよき日に卒業を迎える卒業生へ心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは三年間の喜界高校での学びに今何を想うのでしょうか。現在の教育は「正解のない課題に取り組む力」の育成を目標のひとつとして掲げています。現代はよく「正解のない時代」と言われますが、昔から社会活動の中で正解というものはなかったと思います。ただ、私が高校生であった時代と今の時代では受け取ることでできる情報量が飛躍的に増大しており、目標達成のための選択肢が大きく増えていると感じます。学ぶということは多くの選択肢の中から自分にとっての正解を導き出すための思考力を磨くことであり、皆さんはそのために本校や喜界島で学んできており、これからも学び続けていくことになると思います。



多くの卒業生が喜界島から巣立ちます。幾人かに話を聞くと、多くの人が「自分が求める仕事の専門性を高めて、いつか島に帰り貢献したいから島を出ます。」と話してくることに頼もしさを感じます。違う土地で暮らし、これまでと異なる生活文化に触れ、外から島を見つめることで喜界島の良い所・悪い所を再認識してください。そして、この島の未来を守るために自分ができることが何なのかをあらためて考えてください。

これから人生で嬉しいこと、辛いこともあるでしょう。様々な経験が皆さんの人としての幹を更に太くし、枝葉を大きく広げてくれます。その根幹にこの島で学んだことが強く根付いていることを誇りに社会で活躍してください。そして、自分たちが最適だと考える形で、島で学んだことを次の世代に繋げていくことは喜界島への貢献のひとつの形になるのではないのでしょうか。世界のどこにいても島での学びを大切にしてください。最後に、この三年間保護者の皆様より多大なる御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

喜界高校を卒業する皆さんへ

普通科三年 担任 原田 亮

ご卒業おめでとうございます。3年間の高校生活を経てとても遅く成長したと感じるとともに、一緒にこの特別な日を迎えられることを嬉しく思います。

ところで、イチロー選手が偉業を成し遂げ、大リーグ殿堂入りを果たしましたが、彼の準備に対するこだわりは相当なものです。

「ものごとの結果は本番前に決まっています。完璧な準備をすることで本番への自信や大きな成果に繋がる」と。これは社会の中でも「準備8割実行2割」とよく言われています。また、「準備とは、結果の得る前に、言い訳の材料となり得るものをすべて排除できるよう考えるすべてのことをこなすこと」と述べています。そして、有名な自分の決めごとを習慣化させる「ルーティン」。自分を条件反射で動けるよう習慣化することでパフォーマンスを一定化させ、いざというときに慌てずに行動できるというものです。かなりこだわりの持ち主で取り組んでいる人物ですが、少しでも参考にするに良いかもしれません。

それぞれが新たなスタートですが、皆さんの未来が明るく希望に満ちたものであることを心から願い、またこれからの活躍を大いに楽しみにしています。



親愛なる23名へ

商業科三年 担任 稲付 大悟

ご卒業おめでとうございます。三年間、さまざまなことがありました。何はともあれみながそろって卒業式を迎えられそうなのが、担任・稲付として最上の喜びです。あなたたちとファーストコンタクトをとった中三時の乗り入れ授業では、騒がしいし、ずかずかと空気を読まない言動ばかりでした。しかし、高校では、優勝や準優勝ばかりのクラスマッチを筆頭に、何事もやみつきになるまで楽しめ友情を深め、少々間違っても全然恥ずかしがらずに赤裸々に笑い合える尊くも凛々しい集団に成長してきました。勉強家は少なく、趣味や美意識も多種多様でありながら、個々の持っている能力が多少足ろうが足るまいが、協力し合って乗り越えてきた思い出は、将来きっと青い春として語り合えることでしょう。

これまででは保護者や地域の方々の支えのおかげで、いたれりつくせりな18年間だったかもしれない。今後は、一人一人が自分の人生を切り開くプレイヤーです。青信号ばかりの道ではないと思います。青信号が、敷かれたレールを自分なりにアレンジしたり、リメイクしたりしながら、幸せな未来へ向かって歩んでいくってください。応援していますよ。本当に。

※商業科23名へ「最後の宿題」です。隠されたメッセージを読み取ってみてください。